

第 1 回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日 時：令和 8 年 5 月 20 日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者： 11 名

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	欠席
利用者家族	2 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	2 人	民生委員	1 人
事業所職員（職名：管理者、GH 主任、小規模主任）			5 人

1. 報告事項：登録実績と利用状況（R8.4 月現在）

現在入居者数		18 名	新規入居者数	3 月	1 名
内 訳	男 性	4 名		4 月	1 名
	女 性	14 名	退居者数	3 月	1 名
	計	18 名		4 月	1 名

※最少年齢 82 歳 最高年齢 100 歳 平均年齢歳 92.1 歳（4 月）

令和 8 年度 グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 利用一覧

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要支援2	0												
	0												
要介護1	7												
	183												
要介護2	6												
	180												
要介護3	3												
	90												
要介護4	3												
	62												
要介護5	0												
	0												
計	19												
	515/540	/540	/540	/558	/558	/540	/558	/540	/558	/558	/522	/558	

入院	6												
空室	19												
入居率	96.4%												
稼働率	95.3%												

地域別利用状況（令和8年4月）

波根	久手	長久	大田	川合	大屋	大森	三瓶	静間	温泉津	五十猛
2人	2人	1人	5人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	1人

議 題：

2. 事業計画について

今年度の事業計画について説明を行った。

入居率・稼働率や延べ人数の考え方について質問あり。数値の見方について説明する。

（中浜自治会長より）

Q：具体的にどのように地域に発信をして行こうと思っているのか。

A：現時点ではホームページでの発信が主であるが、今年度はInstagramなどのSNSを活用した発信を検討している。

3. 活動状況報告

①朝波小学校児童下校時の見守り活動今年度も継続（朝波小学校は今年度で閉校）

（大田市職員からの意見）

地域との関りについて課題を感じている事業所もある中、見守り隊で地域の方や学校とのかかわりを積極的にされているので続けていけると良い。

②運営推進会議検討項目

No.17：チームでつくる介護計画とモニタリング

【評価基準】

本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している
→自宅での生活習慣やこだわり、家族・関係者との交流などを介護計画書、日課表をもとに支援することで個別的な取り組んでいる状況を報告した。

No.36：日常的な外出支援

【評価基準】

一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している

→外出し、波根や地元の地域へ出掛けしている。また、市内の店舗へ買い物に行き、施設以外の住民の方との交流が図れている状況を報告した。

時間の都合上報告のみ。次回同様の項目で検討予定。

③外部評価関連について

No.25 災害対策について

【評価基準】火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に着けるとともに、地域との協力体制を築いている。

(中浜自治会)

Q：実際にどの程度の受け入れや対応が可能であるか

A：非常用発電を設置している為、地域の方に対して2階フロアを避難場所として提供可能（20名程度）であることを前年度から伝えている。自治会の避難場所や自主防災組織の決まり事もあると思うが、地域の方の要望や相談なども踏まえて今後の災害協力を繋げたい旨を伝えた。

4. その他

- ・新役員の紹介（小規模主任、家族代表、大津・中浜自治会長、大田市介護保険課）
- ・運営推進会議の目的、当該会議での流れの説明

5. 全体を通じて参加者の意見、感想

(大田市職員)

外部評価については年度末に多くの項目を評価して下さいと言われると、振り返りながら行うことになるので負担。毎月の議題であげてもらうことで分かりやすく助かる。

(大津自治会)

運営会議に出ることでこういったことをしているのかが分かる。

(利用者家族)

他の事業所では面会には予約が必要であったり時間制限があったりするが、たてがみの郷グループホームは予約なしでいつでも母親に会いに行くことができるので喜びます。

次回開催日：令和8年7月22日（水）9：30～10：30

第2回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類： ☒ グループホーム ・ ☐ 小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護

日 時：令和 8 年 7 月 22 日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者： 11 名

駐在所巡査長	1 人	知見を有する者	欠席
利用者家族	1 人	大田市職員	2 人
地域住民の代表	3 人	民生委員	1 人
事業所職員（職名：管理者、GH 主任、小規模主任）			3 人

1. 報告事項：登録実績と利用状況（R8.6月現在）

現在入居者数		18 名	新規入居者数	5 月	0 名
内 訳	男 性	5 名		6 月	0 名
	女 性	13 名	退居者数	5 月	0 名
	計	18 名		6 月	0 名

※最少年齡 82 歳 最高年齡 100 歳 平均年齡歳 92.1 歳 (4 月)

令和8年度 グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 利用一覧

[illegible]

入院	6	0	0										
空室	19	0	0										
入居率	96.4%	100%	100%										
稼働率	95.3%	100%	100%										

地域別利用状況（令和8年6月）

波根	久手	長久	大田	川合	大屋	大森	三瓶	静間	温泉津	五十猛
2人	2人	1人	5人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	1人

2、活動状況報告

- ・朝波小学校児童の下校時見守り活動
- ・6/15（月）おとめ組ボランティア来訪
- ・6/7（日）花の郷外出
- ・6/28（日）波根駅周辺の草刈り

＊スライドにて説明を行う。

Q：行事の際に一人ぼつんという利用者はいないのか？

A：ADL や意欲低下などにより、興味を示さない方はいる。行事にはなるべく参加してもらい様子を確かめるようにしている。家族などからも聴き取りを行っている。

Q：施設で外出の際は家族の参加を募っているか？

A：行事には家族の参加を募っているが、外出は取っていないので今後検討したい。

① 運営推進会議検討項目

No.35：役割、楽しみごとの支援

【評価基準】

張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている
→家事炊事、畑などの役割、カードゲーム、散歩、刺し子などの余暇活動についての紹介

No.36：日常的な外出支援

【評価基準】

一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している
→外出外泊は自由にしている為、家族との外出が20件、外泊が1件あり

事業所の対応では久手通いの場、馴染みの店舗等への外出を実施

Q：実際に波根地域に散歩などに出かけた際に、地域との交流はあるものですか？

A：外出時は地域の方あいさつを交わしたり、少し話したりすることはあるが、交流に繋がるほどではない。家族との外出で自分の地域に出かけた際には、地域の方々との交流があったという報告は受けている。

② 外部評価関連

No.39：居心地のよい共用空間づくり

【評価基準】

建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている

＊次回 7 月 22 日の運営推進会議にて実際に事業所内を確認し評価をして頂いた。

見学時のやり取り

- ・居室が自宅の部屋に近いような部屋になるように、使い慣れた物を持ってきてもらっている。表札を全部の部屋につけるのもその一環。
- ・和室と洋室を見学してもらう。

和室は段差があるので洋室が家族としては安心かもしれませんねという感想あり。

4、その他

次回開催日：令和 8 年 9 月 16 日（水曜日）9：30～10：30

第3回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日 時：令和8年9月16日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者： 9名

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	1人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人	民生委員	1人
事業所職員（職名：管理者、GH 主任、小規模主任）			3人

1. 報告事項：登録実績と利用状況（R8.8月現在）

現在入居者数		18 名	新規入居者数	5 月	0 名
内 訳	男 性	5 名		6 月	0 名
	女 性	13 名	退居者数	5 月	0 名
	計	18 名		6 月	0 名

※最少年齢 83歳 最高年齢 100歳 平均年齢歳 90.4歳（8月）

令和8年度 グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 利用一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0								
	0	0	0	0	0								
要介護1	7	7	7	7	7								
	183	217	210	217	215								
要介護2	5	5	5	4	4								
	180	186	180	124	124								
要介護3	4	4	4	5	4								
	90	93	90	155	124								
要介護4	3	2	2	2	2								
	62	62	60	62	62								
要介護5	0	0	0	0	1								
	0	0	0	0	31								
計	19	18	18	18	18								
	515/540	558/558	540/540	558/558	558/556								

入院	6	0	0	0	2								
空室	19	0	0	0	0								
入居率	96.4%	100%	100%	100%	100%								
稼働率	95.3%	100%	100%	100%	99.6%								

地域別利用状況（令和8年8月）

波根	久手	長久	大田	川合	大屋	大森	三瓶	静間	温泉津	五十猛
2人	2人	1人	5人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	1人

2、活動状況報告

・朝波小学校児童の下校時見守り活動 9月夏休み明けから再開

・7/23（木）流しそうめん

・8/23（日）夕涼み会

＊スライドにて説明を行う。

Q：行事は利用者も企画から参加しているのか。忙しいと思うが参加型が望ましい。

A：現状では職員が企画して行っている。今年度は行事が多いので、利用者も企画から携われるように考えたい。

③ 運営推進会議検討項目

No.2：事業所と地域とのつきあい

【評価基準】

事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している

→波根まちセンでの通いの場交流や市内店舗での買い物を通じて地域との繋がりを説明。特に意見なし。

④ 外部評価関連

No.28 食事を楽しむことのできる支援

【評価基準】

食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている

→週に1度、食事の準備から食後の洗い物までを含めて支援を行っている様子を写真やスライドを持って説明。本日委員による外部評価を行った。

4、その他

次回開催日：令和8年11月18日（水曜日）9：30～10：30